

「高速道路建設推進議員連盟」設立総会で

増田岩手県知事が挨拶（全国知事会）

7月23日（火）、全国高速道路の早期建設完工を期することを目的として、「高速道路建設推進議員連盟」の与党合同設立総会が開催されました。

総会では、同連盟の江藤隆美世話人代表の挨拶の後、規約の審議や人事協議、決議文の朗読等が行われました。

当日は、同連盟世話人代表の要請により、本会を代表して増田岩手県知事が出席し、地方の意見を尊重し、反映させることなどの5項目について、道路関係四公団民営化推進委員会や政府に対して主張したいと考えている、と挨拶を行いました。

また、各団体を代表して、次の方々がそれぞれ挨拶を行いました。

- ・全国高速道路建設協議会会長 平松守彦（大分県知事）
- ・全国市長会 柳田 弘（秋田県本荘市長）
- ・全国町村会会長 山本文男（福岡県添田町長）

なお、増田岩手県知事の挨拶要旨は、次のとおりです。

『高速道路建設推進議員連盟』設立総会における 全国知事会代表増田岩手県知事挨拶要旨

『高速道路建設推進議員連盟』設立総会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より関係議員の皆様方には、各都道府県等が行う事務・事業に対してご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

ご案内の通り現在、道路関係四公団民営化推進委員会において今後の高速道路のあり方について調査・審議されているが、議論の中心が採算性や債務処理となっており、必要不可欠である。

しかしながら高速道路網は、地域の自立的発展や国際競争力の強化を図る上で重要であるばかりでなく、救急医療の活用や緊急用道路として必要不可欠である。

また、雪寒地域においては、近隣地域等とのアクセスを図る上での生命線であることなどから、全国知事会としては、高速道路網の整備について、推進委員会や政府に対し次の5点を強く主張したいと考えている。

- 1 地方の意見を尊重し、意見が反映されるよう配慮すること。
- 2 整備計画 9,342km の早急な整備及び予定路線 11,520km の着実な整備。
- 3 全国料金プール制により、従来以上に整備を促進し、地方に新たな負担を求めないこと。また、民営化に際しては、債務超過などを地方に負担転嫁しないこと。

- 4 新たな組織における高速道路の運営は、利用者の利便性及び環境対策等についてより一層考慮すること。
- 5 道路特定財源については、道路の役割や地方の現状などを踏まえ、必要な財源を確保すること。

このたび、与党において本議員連盟を設立していただいたことは、高速道路網の早期整備を主張する全国知事会を代表するものとして心強い限りである。

本議員連盟の設立目的である、「全国高速道路の早期建設完工を期する」よう、全国知事会として応援させて頂くことをお誓い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成14年7月23日

全国知事会代表

岩手県知事 増田 寛也